

令和元年度事業報告

はじめに

令和元年度の桑名市シルバー人材センター(以下「センター」という。)の契約金額は、昨年4月に事務比率を改定したことなどもあり、昨年度より400万円程の増加の5億7,800万円となりました。受注業務の大幅な増減はありませんでしたが、広域清掃事業組合の業務を年度途中で請負から派遣に切替えたことなどにより請負契約額は900万円程減少しましたが、反対に派遣契約額は1,300万円程の増加となったところです。

会員数に関しては、昨年度より10人減少の1,017人となったところですが、新入会員数は昨年度より13人増加しており、月1回の定期入会説明会、29年度からハローワーク桑名で継続実施している就業相談会に加え、今年度より新たに取組んだ地区説明会の実施により増加したものです。一方、昨今の社会状況から雇用環境は大きく変化しており、これまで求人に対して就業できる会員がいない状況でしたが、今は求人の減少により、入会してきた会員に就業先を紹介できない状況になってきました。また、直近ではコロナウイルスの影響により、さらにその傾向が大きくなってきており、就業先を確保することが重要課題となってきました。

事業推進に向けた施策の取組では、昨年設置した事業推進委員会を中心に、今年度、「魅力あるセンター」を目指して地区説明会の実施、年末ご愛顧訪問の実施、会報誌ORITURU新春号の発行、喫茶「オアシス」の活用、各種講習会の実施、IT機器を使った会員への情報発信など様々な施策に取組みました。

以下、詳細について、令和元年度事業実施計画を基に報告します。

1 会員拡大への取組

会員拡大はシルバー事業を推進するうえで重要であり、事業の活性化にもつながり重点的に取組んだところです。新たな取組として地区説明会を実施するとともに、これまで実施してきたハローワーク桑名での就業相談会、各種講習会の実施等に取り組めました。

(1) 入会促進への取組

- ① 新たな取組としてセンターから離れた地区を中心に7月から11月にかけて毎月2地区、計10地区で地区説明会を実施しました。説明会には41人の参加で16の方が入会しました。
- ② ハローワーク桑名での高齢者を対象とした就業相談会を昨年に引き続き毎月第2水曜日に実施しました。28人の相談があり、その内16人が入会説明会に参加し9人が入会しました。

- ③ 新入会員拡大報奨制度による新入会者の紹介を様々な場で会員へ呼びかけました。新入会員 131 人の内、会員からの紹介者は 23 名と 17.6%が会員からの紹介でした。年々、会員紹介による入会者が減ってきている状況です。
- ④ 市民及び会員を対象に網戸の張替講習会、スマホ講習会、パソコン講習会、絵手紙教室等を開催し、市民への入会促進に向けた取組みに努めました。
- ⑤ 昨年発行できなかった市内全戸配布の会報誌 ORITURU 新春号を発行したところ、1 月に 22 人、2 月に 17 人と他の月より多くの方が入会しました。

(2) 退会抑制への取組

- ① 毎週金曜日、事務局内での打合せを行い未就業会員の情報を共有して会員への就業紹介に結びつけました。
- ② 昨年 2 月に実施した未就業会員へのアンケート調査に基づき、未就業会員へ就業先の希望等を再調査し、個々に対応しました。
- ③ 80 歳以上で会員 2 年以上在籍のゴールド会員の方が 74 人みえました。ゴールド会員は会費を半額としました。

2 就業拡大への取組

これまで就業依頼が多いことから新規就業開拓よりも既存就業先での就業開拓に重点をおいて取組むとともに、会員の高齢化に伴い 75 歳以降の会員にも就業可能な就業先として市役所を中心に就業開拓に取り組みました。

- ① センター職員により既存の就業先 126 社を対象に「年末ご愛顧訪問」を実施しました。訪問時にアンケートを実施し、99 社からの回答では 96%の顧客から満足という回答を得ました。また、10 社から追加の増員注文もいただきました。
- ② 毎週金曜日開催する事務局内職員による打合会において、未就業会員の情報を共有し会員のニーズに合った就業先紹介に努めました。
- ③ これまで会員への就業情報の提供は事務局通信、事務所での掲示、ホームページでの掲載を行ってきましたが、これらに加え LINE、smaile to smile 等による情報提供システムを構築するため、会員が保有する IT 機器についてアンケート調査を行い、IT 機器を使った会員への就業情報の提供について検討しました。また、ホームページを会員が使いやすいよう大幅に改定しました。
- ④ 会員の高齢化に伴い 75 歳を過ぎても就業可能な就業先開拓を目的に市役所内 18 部署を訪問し発注の検討を依頼しました。その中で 2 つの部署から仕事の依頼をいただいたところです。
- ⑤ 職員が定期的に既存就業先を訪問し、就業先との情報交換の中でシルバーへの要望、会員の就業状況等の把握に努めました。

3 安全就業の推進

令和元年度の事故件数は、昨年度これまで最多の 28 件を 4 件上回る 32 件となりました。事故の内容を分析すると月別発生件数では特定の月に集中せず平均して発生しています。通勤途上・就業中分類件数では就業中での事故が 28 件と就業中での事故が多くを占めました。また、人身事故が 12 件、物損事故が 20 件でした。職種別事故件数では、除草作業中の事故が 11 件と全体の 34%を占めました。さらに、不注意が原因と思われる事故は就業中に 22 件発生しており、全体の 69%と多くを占めたことから、昨年度の件数を上回った時点で安全就業委員会から全会員へ非常事態宣言のチラシを配布し注意喚起したところです。

- ① 10 月に運転業務に就業している会員を対象に三重県交通安全研修センターでの高齢者ドライバー向けの団体研修を受講しました。16 名の参加で運転シミュレーター、自動車体験コース等の研修内容で受講しました。また、11 月から 12 月にかけて計 3 回、これまで安全研修を受講していない会員、今年度新入会員を対象に「高齢者の健康維持」「高齢者の交通事故防止」をテーマに、市保健師、桑名警察署警察官を講師に安全研修会を開催しました。
- ② 安全就業委員による自主パトロールを 6 月から 11 月にかけて計 5 回、剪定作業現場、草刈作業現場、事故発生現場の 12 ヶ所で実施しました。また、7 月の安全・適正就業強化月間では、2 班に分かれ除草作業現場、部品製造作業現場、カート整理作業現場をパトロールしました。それぞれのパトロールではチェックリストにより作業状況を評価し、指摘事項を作業員へ伝えました。
- ③ ヒヤリハット体験事例を募集したところ 1 件の提出にとどまりました。安全に対する意識の向上のためにも、今後提出数の向上に向けて工夫していきます。また、交通安全に向けて県、県警等が主催する「無事故・無違反チャレンジ 123」に 1 組 3 名の構成で 22 組 66 人が 7 月から 10 月にかけて参加しました。
- ④ 安全かわら版への各種健康情報の掲載により、会員の健康増進に向けた情報提供に努めました。また、事故発生状況も掲載し、会員の安全就業に向けた啓発にも努めるとともに、令和 2 年度から 4 年度用の安全標語を会員から募集し、28 人 54 作品の応募の中から安全就業委員会において、最優秀賞「気を抜くな なたれた作業に落とし穴」が選ばれました。
- ⑤ 事故が発生したときには、事務局長または安全就業委員長が担当職員と事故現場に急行し、事故発生状況を把握するとともに事故原因を検証し、安全対策を協議しました。結果については関係役員、関係会員へ通知したところです。また、今年度は事故発生件数が過去最高となったことから、安全就業委員会による会員への安全意識の高揚に向けた非常事態宣言のチラシを配布するとともに、特に事故件数が多か

った職種の草刈業務就業会員代表による会議を開催し、どうすれば事故を減らせるかを全員で協議し、事故発生時には関係者へ遅滞なく連絡することとしました。

- ⑥ 三重県シルバー人材センター連合会主催の三重県安全就業推進大会へ安全就業委員会委員と職員が参加し、安全就業に向けた知識を深めました。また、三重県シルバー人材センター連合会主催の安全適正パトロールが桑名市で開催され、市内2ヶ所の就業現場のパトロールを連合会他4つのシルバー人材センターの安全就業に関わる会員及び職員 11 名が参加し、安全就業に向けた取組みについて意見交換しました。

4 組織機能の強化

組織機能の強化のため事業推進委員会において、センターの課題に対応した「入会促進・就業開拓部会」「満足度アップ部会」「IT部会」の3つの部会を設置し、役職員がそれぞれの部会に属して課題解決に向けた様々な施策に取り組みました。委員会では各部会の施策の進捗状況を随時検証しながら進めたところです。また、地区組織においては、各地区での活動により会員間の親睦と連帯意識の向上に努めました。

- ① 事業推進委員会の「入会促進・就業開拓部会」では、地区説明会の開催、顧客訪問、会報誌 ORITURU 新春号の発行に取り組みました。「満足度アップ部会」では、喫茶オアシスの活用、講習会の実施に取り組みました。また、「IT部会」では、ホームページの改訂、smile to smile の導入促進に取り組んだところです。
- ② 地区組織活動として、各地区での小学校、公園等での清掃ボランティア活動等が行われました。また、10月のシルバーの日に関連した事業では、各地区を6つのブロックに分けてブロック別での清掃ボランティア活動等が行われました。
- ③ 会報誌 ORITURU を年3回、事務局通信を年6回奇数月に発行し、センターから会員への報告事項、注意事項及び就業情報等を提供することにより、会員とセンターとの情報共有に努めました。
- ④ センター1階の「喫茶オアシス」において、花菖蒲の会の活動、絵手紙教室の開催、盆栽の展示会の開催等を実施するとともに、会員が気軽に集まれる会員の交流の場として活用しました。
- ⑤ 会員の知識・技能・資質の向上を図るため、刈払機取扱作業講習会、網戸の講習会、スマホ講習会、パソコン講習会、会員交流会、チェーンソーの講習会を開催しました。